

令和2年度

文化芸術体験 プログラム集

ハンズオン・ラーニング

ー文化芸術による体験型連携学習プログラムー



びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう!
(ホールの子事業)



学校出前授業プログラム



学校巡回公演



アートのじかん



歴史に触れる(体験博物館)



つちっこプログラム

滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課

はじめに

県では、滋賀県文化振興条例に基づき、平成28年3月に文化振興施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、文化振興に関する長期的な目標や施策の方向等を定めた「滋賀県文化振興基本方針（第2次）」を策定しました。

この中で、未来の文化の担い手の育成を目指して、「子ども・若者が本物の文化に触れる機会の充実」を重点施策として掲げています。

子どもや若者が滋賀の豊かな伝統文化や生活文化、芸術文化に触れ、体験することは、子どもたちの感性や創造力を育み、地域に誇りや愛着を感じるきっかけとなるとともに、未来の文化の担い手、地域の文化活動を支える人材の育成にもつながります。

より多くの子どもたちに本物の文化に触れる機会を提供するため、学校教育の中で積極的に文化・芸術体験学習に取り組んでいただけるよう、県立文化施設等が学校と連携して実施するプログラムを紹介します。授業や学校行事等にぜひ御活用ください。

目次

県立施設の取組.....P2~11

■滋賀県立近代美術館 ----- P2~3

- 学校出前授業プログラム
- アートゲーム
- 鑑賞授業プログラム・パック

■滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール ----- P4~5

- びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！（ホールの子事業）
- 学校巡回公演
- ふれあい音楽教室
- びわ湖ホール 舞台芸術体験事業

■滋賀県立文化産業交流会館 ----- P6~7

- 滋賀県次世代文化芸術推進事業「アートのじかん」2020

■滋賀県立陶芸の森・世界にひとつの宝物づくり実行委員会 -- P8~9

- つちっこプログラム

■滋賀県立安土城考古博物館 ----- P10~11

- 歴史に触れる（体験博物館）

文部科学省・文化庁の取組.....P12~13

- 文化芸術による子供育成総合事業
～巡回公演事業～ ----- P12
- 文化芸術による子供育成総合事業
～芸術家の派遣事業～ ----- P13

滋賀次世代文化芸術センターの紹介.....P14~16

分野別索引.....P17

滋賀県立近代美術館

学校出前授業プログラム

近代美術館はただ今、施設改修工事のために休館中ですが、この休館期間中に県内の小・中・特別支援学校などに対し、美術館職員が直接教室に出向いて様々な出前授業やワークショップ等を行うプログラムを実施しています。

実施プログラム例

- ◆アートゲーム…古今東西の美術作品のカードやスライド映像などを用いて、じゃんけんゲームやまねっこゲーム、絵合わせゲームなどの楽しいゲームを実施します。遊びながら作品の細部を観察し、見たもの感じたものを自分の言葉で素直に表現する力を育てます。
- ◆名画でびっくりコラージュ…古今東西の名画を土台にさまざまな写真を上から切り貼りして、自分だけのオリジナルの作品を作り、下敷きに加工してお持ち帰りいただきます。
- ◆子どもアートキャラバン…学校ではなかなか体験できない大がかりな作品作りや共同制作の指導を行います。内容はビニール袋を貼り合わせて作る人が中に入れる虹色ドームや、部屋を暗くすると妖しく光るクモの巣作りなどで、学校側との協議により決定します。実費負担が必要なものがあります。

- **実施期間** 年間を通じて
- **対象** 小学校、中学校、特別支援学校
- **実施場所** 各学校
- **申込方法** 同一の日には1箇所しか実施できませんので、あらかじめお電話いただき、日程が空いていることを確認していただいた後、美術館ホームページの「TOPICS お知らせ」→「学校出前授業」欄から申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、美術館までFAXまたは郵送でお送りください。
- **募集時期** 随時
- **費用** 基本的に無料ですが、「子どもアートキャラバン」は一部、実費負担が必要なものがあります。



びっくりコラージュ作例



子どもアートキャラバン実施例

アートゲーム(貸出用ツール)

近代美術館が学校貸出用に制作した鑑賞教育支援教材です。古今東西の美術作品のカードを用い、さまざまなゲームを楽しむことにより、知らず知らずのうちに作品の細部を観察し、見たものを自分の言葉で表現する力を身につけることができます。使用方法を解説したビデオが付属するため、借用した瞬間から誰でも実施できます。

- **貸出期間** 原則、1週間単位で最長4週間まで貸出が可能です。
- **対象** 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校
- **申込方法** 美術館ホームページの「教育・普及」→「学校関係者の方へ」欄から申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、美術館まで FAX または郵送でお送りください。
- **費用** 貸出は無料ですが、送料は各学校の負担です。



アートゲーム・ボックス



アートゲームの実施風景

鑑賞授業プログラム・パック(貸出用ツール)

近代美術館が学校貸出用に制作した教室で鑑賞の授業が手軽に実施できる図版セットです。館蔵品6点のB2サイズ大型図版とA4サイズ小型図版各20枚、それに使用の手引きを同梱しています。《人物》と《水》をテーマにした2種類のセットがあります。鑑賞授業の内容に合わせて必要な方をお申込みください。

- **貸出時期** 最長4週間まで貸出が可能です。
- **対象** 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校
- **申込方法** 美術館ホームページの「教育・普及」→「学校関係者の方へ」欄から申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、美術館まで FAX または郵送でお送りください。
- **費用** 貸出は無料ですが、送料は各学校の負担となります。



鑑賞授業プログラム・パック

問い合わせ・申込先

滋賀県立近代美術館事務室

〒520-0807 大津市松本1丁目2-1 (滋賀県大津合同庁舎 5F)

TEL 077-522-2111 FAX 077-522-2188

E-mail ck30@pref.shiga.lg.jp ホームページ <http://www.shiga-kinbi.jp/>

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」(ホールの子事業)

びわ湖ホール声楽アンサンブルとオーケストラによる音楽公演を鑑賞します。

●令和元年度実施内容例

指揮：ステファン・ブルニエ

管弦楽：京都市交響楽団

独唱・合唱：びわ湖ホール声楽アンサンブル

プログラム：1. チャイコフスキー：くるみ割り人形 行進曲

—楽器紹介—

2. ヘンデル：アラ・ホーンパイプ

3. グリーク：朝の気分

4. グリーク：山の魔王の宮殿にて

5. ヴェルディ：『リゴレット』より 女心のうた

6. ヴェルディ：『イル・トロヴァトーレ』より アンヴィル・コーラス

7. みんなで歌おう♪ 「翼をください」

8. エルガー：威風堂々 第1番

■実施時期 令和2年6月9日(火)～11日(木)
6月15日(月)～17日(水) 6日間(各日2回)計12公演(予定)

■対象 小学校、特別支援学校(小学部、中学部、高等部)等

■実施場所 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール

■申込方法 申込書に必要事項を記入の上、市町教育委員会を通じて滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課(特別支援学校については直接滋賀県教育委員会事務局特別支援教育課、国立および私立学校等については、滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課)へ提出してください。

■募集時期 令和2年1月～(予定)

■費用 鑑賞は無料。児童の移動経費の一部を、滋賀県が補助します。
(バス借り上げ代は1台あたり実績額の8割、実績の8割が5万円を下回る場合は5万円を上限に実績額を補助。公共交通機関の利用料金については全額を補助。)

写真：©栗山主税



児童の感想

「楽器の多さや演奏の迫力に感動した。」「演奏の速さや強弱の変化がすごかったです。自分たちの音楽発表会に生かしたいです。」「みんなで『つばさをください』を歌って気持ちよかったです。」

先生の感想

「滋賀県が誇る素晴らしい音楽環境の中で、プロの演奏や歌声に接することができ、音楽の魅力を満喫することができました。」「体全体で音楽を感じ、音楽に対する関心や親しみを高めることができました。」

びわ湖ホール声楽アンサンブル アウトリーチ事業

「学校巡回公演」

約1時間の本格的なコンサートのなかで、歌声の違いを聴いて学んだり一緒に歌ったりと充実した音楽鑑賞公演です。びわ湖ホール声楽アンサンブルメンバーと一緒に感動の合唱を味わえます。

実施時期 令和2年5月8日(金)、11日(月)、12日(火)
14日(木)、15日(金)

対象 小学校、中学校

実施場所 実施校の体育館

申込方法 申込書に必要事項を記入の上、市町教育委員会を通じて滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課へ提出してください。

募集時期 令和元年11月

費用 一人500円(要保護・準要保護児童生徒を除く)
※令和3年度以降の実施時期、募集時期は未定です。

■令和元年度実施内容

校歌、ほたるこい、声種紹介、そうらん節、Believe、オペラアリア、サッカーによせて、君をのせて等



児童・生徒の感想

- ・合唱や独唱を聴いて、その歌声に圧倒されました。
- ・1時間はとても短く、まるで1本の映画を見ているようでした。
- ・男声と女声の声が重なっていくところが素敵でした。
- ・一緒に「ビリーブ」が歌えて気持ちよかったです。

「ふれあい音楽教室」

びわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバー2名とピアニストが、小学校の音楽の授業に参加し、びわ湖ホールやオペラについてのお話をしたり、一緒に歌ったりします。

実施時期 令和2年10月～11月(予定)

対象 小学校

実施場所 各学校の音楽室等

申込方法 申込書に必要事項を記入の上、市町教育委員会を通じて滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課へ提出してください。

募集時期 令和元年11月

費用 無料

※令和3年度以降の実施時期、募集時期は未定です。



児童の感想

- ・生で聞いて、とても驚きました。声の大きさや表情、動きにびっくりしました。ビブラートがかかって、とても迫力がありました。
- ・教えてもらって、少し高い声が出るようになれたので嬉しかったです。
- ・一緒に「ふるさと」を歌えたのが良かった。歌い方や表現のこつも聞けて良かった。
- ・ピアノがあんなにすごく弾けてすごいと思いました。憧れます。

「びわ湖ホール 舞台芸術体験事業」

びわ湖ホール「オペラへの招待」のリハーサルを鑑賞します。舞台装置、衣裳等、本番同様に行われます。

実施時期 令和3年1月下旬(予定)

対象 小学校、中学校、高等学校(予定)

実施場所 びわ湖ホール 中ホール

申込方法 申込書に必要事項を記入の上、市町教育委員会を通じて滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課へ提出してください。

募集時期 令和2年7月(予定)

費用 無料 ※令和3年度以降の実施時期、募集時期は未定です。

■令和元年度実施内容

J. シュトラウス作曲
オペラ「こうもり」
(日本語上演)



滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課
〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号

TEL 077-528-4665

FAX 077-528-4953

E-mail ma10@pref.shiga.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.shiga.lg.jp/edu/gakko/index.html#01>

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
〒520-0806 大津市打出浜15-1

TEL 077-523-7152 FAX 077-523-7147

E-mail project@biwako-hall.or.jp

ホームページ <https://www.biwako-hall.or.jp/>

滋賀県立文化産業交流会館

滋賀県次世代文化芸術推進事業「アートのかん」2020

学校に演奏家を派遣し、アーティストの「手元が見える」「息遣いを感じられる」空間で演奏を楽しむ芸術体験プログラムで、アーティストが子どもたちと直接ふれあい、子どもたちの豊かな感受性や多様な価値観を認め合う力をはぐむ手助けをする事業です。さまざまな事情でホールに足を運ぶことが難しい子どもたちに「音楽の生演奏」との素敵な出会いの場をお届けします。

●ジャンル 音楽

●令和元年度実施内容

- ◆浅川いずみ（マリンバ/打楽器）
- ◆パーカッションアンサンブル チーム おちゃのみ
西谷 夏、吉田周平、大石橋輝美（マリンバ/打楽器）
- ◆おぼんざい
佐々木涼輔（テノール）、寺井優花（サクソフォン）、藤井夢音（ピアノ）
- ◆Lapin
吉延佑里子（フルート）、椋山さやか（ピアノ）
- ◆マリンバ・パーカッショントリオ “pecora”
竹内唯、工藤沙ゆり、服部杏子（マリンバ/打楽器）
- ◆パーカッションアンサンブル Ciao☆
中井萌、大塚真帆（マリンバ/打楽器）
- ◆ゆらぎ
伊藤志野（箏）、岩本みち子（尺八）

- 実施時期 令和2年10月～令和3年2月
- 対象 小学校、中学校、特別支援学校 20校程度
- 実施場所 各学校（音楽室、プレイルーム、和室等）
- 申込方法 申込書に必要事項を記入の上、滋賀県立文化産業交流会館へFAXまたは郵送にてお申し込みください。
- 募集時期 令和2年7月～8月（予定）
※詳しくは、6月中旬以降に当館ホームページまたはお電話にてご確認ください。
- 費用 無料



② 児童・生徒の感想

- ・クマンバチの飛行は、ゆっくりの方はゆっくり飛んでいる感じで、速い方は人をおいかけている感じだった。フルートの音色はリコーダーよりもやさしい音だった。夢はねむたくなるところとはげしいところがあった。
- ・演奏している人や、曲を作っている人は、いろんな物を想像しながら演奏したり、曲を作っているんだなと思いました。
- ・打楽器で演奏すると聞いて、私はどんな音になるか少し楽しみでした。打楽器ってこんなに色々な音があるんだあ～と思いました。とてもきれいな音や元気のある音があつてすごいな～と思いました。あと、みなさんが演奏するのが、とても、とても早くてびっくりしました。
- ・打楽器だけの演奏を聴くのは初めてでした。けれど、聴いていると音楽の世界に引き込まれそうな演奏でした。不思議だと思ったこともたくさんありました。また、ピアノなどとは別の印象のある感じでした。

② 先生の感想

- ・演奏だけでなく、曲に関する話や聴き比べを取り入れてくださったことで、子どもたちもメリハリを持って聴くことができたかなと感じています。また、写真等もあり、イメージしやすかったと思います。“夢”を聴いた時は、実際に寝たつもりで聴いている姿が見られ曲の世界に入り込んでいるなと思いました。

(Lapin プログラム)

- ・距離が近かったので迫力があって良かった。
- ・オペラの発声法を目の前で見る機会がはじめてだったので貴重な機会だった。
- ・普段あまり聴くことのない音楽や声量の大きさに子どもたちは驚きと感動をおぼえていました。とても良い経験になりました。
- ・目の前でアーティストの方々の生の歌声や演奏が聴けて、子どもたちも目を輝かせて音楽にひたる事ができました。
- ・近くてアーティストの方の息づかいまで届く距離で聴けて良かった。 (おぼんざい プログラム)

- ・沢山の打楽器を間近で演奏して下さり、子どもたちは終始くぎづけになって見ていました。終演後には子どもたちが楽器から離れずに触ったり弾いてみたりするなど、楽器や音楽への興味・関心が高まったことを実感しました。 (おちゃのま プログラム)

- ・目の前で生の演奏を聴かせてもらい、息づかい、指の動き、目の輝きまで子どもの心に残りました。
- ・「何でもいいから好きなことを大切にしたい」というメッセージも生きた言葉として伝わりました。マリンバを通しての浅川さんの思いなども、子どものこれからのキャリア教育につながる良いものでした。

(浅川いずみ プログラム)

問い合わせ・申込先

●滋賀県立文化産業交流会館

〒521-0016 米原市下多良二丁目 137

TEL 0749-52-5111 FAX 0749-52-5119

E-mail bunsan@biwako-arts.or.jp

ホームページ <http://www.s-bunsan.jp>

つちっこプログラム／

滋賀県立陶芸の森・世界にひとつの宝物づくり実行委員会

つちっこプログラム

世界にひとつの宝物づくり事業・子どもやきもの交流事業

滋賀県の伝統産業である「信楽焼」の歴史・文化や「土」に触れる教育プログラムです。出張プログラムでは、作家、ボランティア、各機関と連携して陶芸作品の制作を学校・施設において行います。来園プログラムでは、制作と併せて、開催中の展覧会の鑑賞、窯や「つちっこ！なるほど！やきものコーナー」の見学など、やきものに関するさまざまな体験を陶芸の森において行います。

各プログラムは、要望に合わせて内容を変更・調整します。

●陶芸作品の制作例

- ◆土で遊ぼう！
- ◆願いを込めたタヌキをつくろう！
- ◆光と影のかたち、ランプシェードをつくろう！
- ◆音がでるやきもの、土鈴をつくろう！
- ◆土面をつくろう！
- ◆シーサーをつくろう！
- ◆ごちそう皿をつくろう！
- ◆歴史的な作家に学んで器をつくろう！
- ◆英語でやきものづくり 等



●陶芸の森でのプログラム内容◆

- ◆作品制作
- ◆開催中の展覧会の作品鑑賞
- ◆穴窯、登り窯、ガス窯の見学
- ◆「つちっこ！なるほど！やきものコーナー」で触って体験、信楽焼を知る
- ◆野外作品を使ったビンゴゲーム 等

●連携している主な機関

- ◆滋賀次世代文化芸術センター
- ◆MIHO MUSEUM
- ◆甲賀市指定信楽焼無形文化財の会



■事業名	世界にひとつの宝物づくり事業	子どもやきもの交流事業
■内容	<ul style="list-style-type: none"> ・来園制作 陶芸体験、鑑賞、見学を組み合わせた活動 ・出張授業Ⅱ 特別支援学校・学級での出張陶芸体験授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・来園見学 展覧会鑑賞、工房や窯の見学、信楽焼のお話など ・出張授業Ⅰ 各学校での陶芸体験授業
■実施時期	年間を通じて	
■対象	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援学校、公民館などの団体	幼稚園、小学校、中学校、高等学校
■実施場所	滋賀県立陶芸の森 学校、施設	滋賀県立陶芸の森 各学校
■申込方法	電話、FAX、メールにてまずはお問い合わせください。パンフレット、申込書等をお送りいたします。	
■募集時期	随時	
■費用	550円～2,800円程度 ※実施内容により異なります。	550円～2,800円程度 ※実施内容により異なります。



陶芸の森園内を見学する子どもたち



夏休み子どもたちの作品展展示風景

🌀 児童の感想

- ・美術館に作品があったのでイメージしやすかったです。
- ・つくっている時、声をかけてくれてうれしかったです。
- ・実際につくって、もっともって信楽焼のことを知りたいなと思いました。

🌀 先生の感想

- ・取り組みに気後れする生徒でも、始めると進めていけて、全員が作品に仕上げられたのが良かったです。
- ・何度も作陶体験をさせていただいているのですが、作る題材が異なると何度でも楽しめます。昨年度とは違った、おもしろい作品ばかりです。

問い合わせ・申込先

滋賀県立陶芸の森 / 世界にひとつの宝物づくり実行委員会
 〒529-1804 甲賀市信楽町勅旨 2188-7 ※両機関ともに問い合わせは同じです。
 TEL:0748-83-0968 FAX:0748-83-1195
 Email:t-oubo@sccp.jp HP:http://www.sccp.jp/

滋賀県立安土城考古博物館

歴史に触れる(体験博物館)

教育普及活動として体験学習や展示解説を行っています。

●体験学習(実費)

- ◆勾玉作り体験
- ◆火起こし体験
- ◆出土品整理作業見学
- ◆茶臼ひき体験

その他の体験学習については、ご相談に応じます。

●体験学習(無料)

- ◆土器に触れよう
- ◆ビデオ鑑賞(縄文・弥生時代の暮らし・安土城の発掘・信長アニメ)

●展示解説(無料)

第1常設展示、第2常設展示および回廊展示の内容を学芸員がわかりやすく解説します。常設展示室では、クイズに答えながら楽しく展示見学できるクイズラリーにも挑戦できます。

- 実施時期 年間を通じて
- 対象 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校
- 実施場所 滋賀県立安土城考古博物館
- 申込方法 事前に、滋賀県立安土城考古博物館へ電話、FAX、メールまたは来館にて担当職員と相談の上、お申し込みください。
- 募集時期 随時
- 費用 学校行事として利用する場合、事前に学校行事証明書を提出すれば入館料は無料[特別展を含む(ただし県内の学校のみ)]です。



土器に触れよう



火起こし体験

② 児童の感想

(展示解説)

・忍者のことや滋賀にあるお城のことなどがよくわかりました。
・織田軍は鉄砲が有名だけれど、やりもすごく長かったことは知りませんでした。博物館へ行って、歴史がさらに好きになりました。

(体験学習)

・勾玉は、みがきがみがかくほど、きれいになりました。
・火起こしは、なかなか火がつかず、むずかしかったです。道具によっても、差があったように思います。

② 先生の感想

(展示解説)

・滋賀県には城が多いことや甲賀忍者のことなど、子どもたちの興味をひきつける話をしていただき、有意義な見学になりました。見学後、安土山に登り、子どもたちは見学したことを思い出して、信長の気分になって眼下に広がる安土の街を眺めていました。

問い合わせ・申込先

滋賀県立安土城考古博物館

〒521-1311 近江八幡市安土町下豊浦 6678

TEL 0748-46-2424 FAX 0748-46-6140

E-mail gakugei@azuchi-museum.or.jp

ホームページ <http://www.azuchi-museum.or.jp>

ぼくは、博物館のキャラクター「まめのぶ」です。皆さんで博物館へぜひ、来て下さい！



文部科学省・文化庁

文化芸術による子供育成総合事業の専用ホームページ

<http://www.kodomogeijutsu.go.jp/>

文化芸術による子供育成総合事業～巡回公演事業～

文化庁が選定した文化芸術団体が、学校の体育館などでオーケストラや演劇等の実演芸術公演を実施します。公演の実施にあたっては、鑑賞と合わせて、文化芸術団体と児童・生徒の共演参加又は体験を行います。また、本公演前に文化芸術団体が学校へ赴き、鑑賞指導や演技指導、共演の練習等のワークショップを行います。

●公演種目

- ◆音楽 ◆演劇 ◆舞踊 ◆伝統芸能 ◆メディア芸術

■実施時期 6月上旬から公演開始（令和2年度見込）

■対象 小学校、中学校、特別支援学校（小学部・中学部）、
中等教育学校（前期課程）
※複数校による合同開催を推奨します。

■実施場所 各学校（体育館等）、文化施設等

■申込方法 申請書に必要事項を記入の上、市町教育委員会を通じて滋賀県教育委員会幼小中教育課（県立中学校は直接滋賀県教育委員会高校教育課、特別支援学校は直接滋賀県教育委員会特別支援教育課、国立および私立学校は直接滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課）へ提出してください。

■募集時期 前年11月頃

■費用

文化庁の負担	開催校の負担
●公演団体の公演に直接係る経費（出演料、公演料等）	●学校の施設設備の使用及び条件整備に係る経費（光熱水料、ピアノ移動・調律費、暗幕設置経費等）
●公演団体の巡回公演に係る旅費及び運搬費	●文化施設を利用する場合の経費（会場借上料（付帯設備等含む））
●児童・生徒が実施会場に移動する場合の経費（バス借上料、公共交通機関運賃等）	●諸雑費（お茶代等）

文化芸術による子供育成総合事業～芸術家の派遣事業～

個人の芸術家や小規模な芸術家グループを派遣し、講話、実技披露、ワークショップ等の実技指導を実施します。

●分野

- ◆音楽 ◆演劇 ◆舞踊 ◆大衆芸能 ◆美術
- ◆伝統芸能 ◆文学 ◆生活文化 ◆メディア芸術 等

■実施時期 6月1日から12月28日まで（令和2年度見込）

■対象 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、義務教育学校、特別支援学校

■実施場所 各学校（教室・体育館等）、文化施設等

■申込方法 申請書に必要事項を記入の上、市町教育委員会を通じて滋賀県教育委員会幼小中教育課（県立中学校・高等学校は直接滋賀県教育委員会高校教育課、特別支援学校は直接滋賀県教育委員会特別支援教育課、国立および私立学校は直接滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課）へ提出してください。

■募集時期 前年8月頃

■費用

文化庁の負担	開催校の負担
<ul style="list-style-type: none"> ●謝金 ●旅費 ●講演等諸雑費 （楽器運搬費・著作権使用料等） 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童・生徒が会場へ移動する際の交通費 ●学校の施設設備の使用及び条件整備に係る経費 （光熱水料、ピアノ移動経費、暗幕設置経費等） ●文化施設を利用する際の使用に係る経費 （会場借上料（付帯設備等含む）） ●諸雑費（お茶代等） ●文化庁の基準単価を上回る経費等

◎先生の感想(派遣事業)

・日頃、プロの劇団による芸術鑑賞体験が少ない子ども達にとって貴重な学習の機会となり、涙を流す生徒もいるほど大きな感動を味わわせることができました。

・美術に苦手意識を持っている生徒も生き生きと取組めており、制作が打ちこんでいる様子が多く見られました。この事業では通常の学校生活の中では得ることができない体験や刺激があり、子ども達により広い世界を学ばせることができると感じました。

・生徒たちは他者と協働しながら作品を創り上げ発表する過程で、他人に伝わる表現とはどのようなものなのかということについて、体系的に学ぶことができました。

※事業専用ホームページより抜粋

問い合わせ・申込先

滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課

〒520-8577 大津市京町四丁目1-1 TEL 077-528-3341 FAX 077-528-4833

E-mail sc00@pref.shiga.lg.jp

滋賀次世代文化芸術センター

滋賀次世代文化芸術センターは、民間、文化施設、学校、行政との連携・協働のもと、滋賀県文化振興基本方針の重点施策に掲げられている「子ども・若者が本物の文化に触れる機会の充実」の取組を具体化し、文化芸術体験学習プログラムが量的・質的に県全域へ広がることを目指す中間支援組織として、平成23年4月に発足しました。「全ての子どもたちに、本物の文化芸術に触れる体験の機会をつくることで、豊かな心を育てる」を理念に、美術館・博物館・文化ホール、芸術家と学校とを繋いで、文化芸術に触れる体験授業＝「文化芸術連携授業」を支援しています。センターでは、学校の希望する学習内容に合った文化施設・芸術家をつなぎ、学校と文化施設・芸術家等の意向を調整、授業内容の検討・準備から授業当日までをトータルにコーディネートします。また、文化芸術連携授業を支えるコーディネーターやボランティアなどの人材育成のほか、行政や文化施設等への提案による事業の企画・運営、大学や教育委員会等との共同研究などに取り組んでいます。

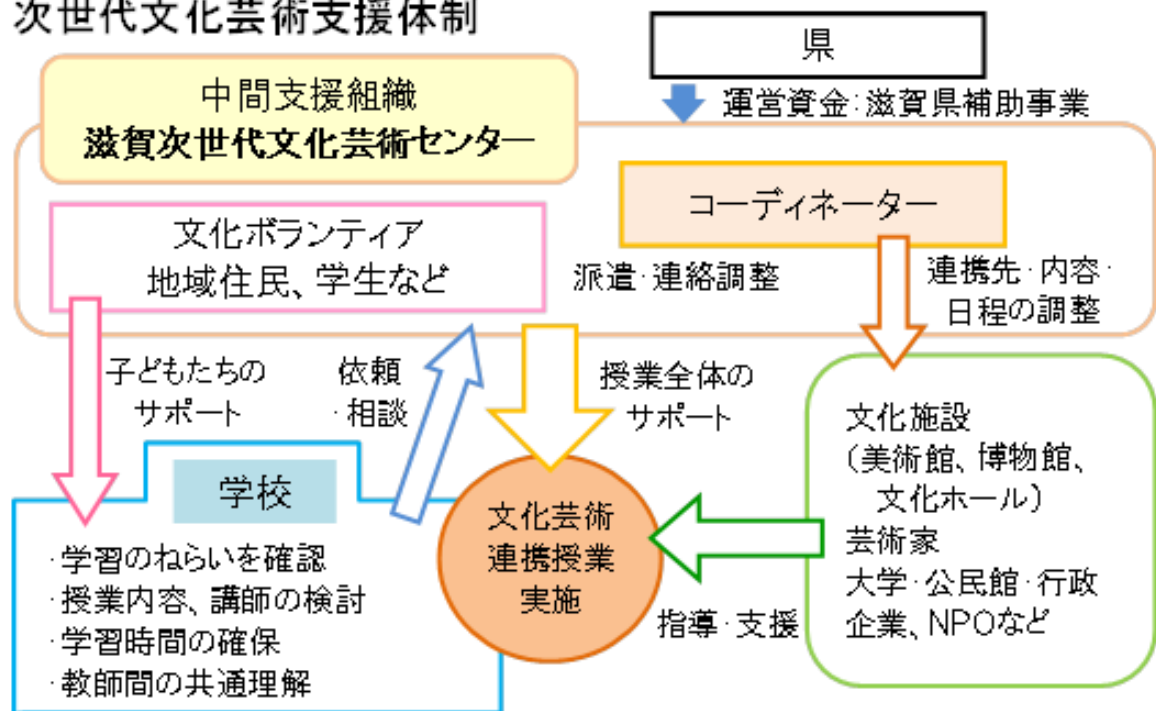
今も変わらない学校側の悩み

- 「子どもたちに本物の文化芸術体験をさせたい」という気持ちはあるが・・・
- 学校の授業時間、カリキュラムの中で どう取り入れられるか
 - 信頼できる文化施設や芸術家は どう探したらいいの
か、気軽に声をかけられない
 - 学校に講師謝礼など予算がない
 - 日々忙しいので手を煩わせられたくない

センターは文化施設、芸術家と学校との意向を調整し、授業をコーディネートします。また、授業当日は、複数のスタッフが、子どもたちの支援をします。授業当日までをトータルで支援する中間支援組織です。



次世代文化芸術支援体制



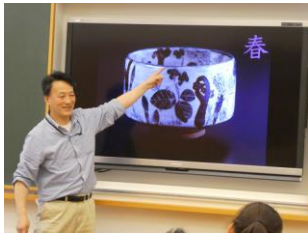
文化芸術連携授業 授業の流れと活動内容（例）

【茶道のおもてなしの心にふれる】 感謝の心を形にする

連携先：県立陶芸の森、MIHO MUSEUM

①茶道についてのお話 講師：美術館学芸員

②茶道体験 講師：茶道家



美術館学芸員による茶道の話と茶碗の鑑賞



茶道家によるお茶会体験

③茶碗制作 講師：陶芸家 講師・生徒補助：滋賀次世代文化芸術センター



陶芸家による制作の説明



絵付けは一回勝負！



コーディネーターが授業を調整
学生文化ボランティアも参加

④自分のお茶碗でおもてなしのお茶会 息を飲むほどの真剣さ

サポート：学芸員、茶道家、滋賀次世代文化芸術センター



お茶を点てる体験



おもてなしの会に向けた準備



おうちの方に感謝の気持ちを
伝えるおもてなしの会

【アニメのルーツ 国宝 鳥獣人物戯画】 図工・美術・国語

連携先：MIHO MUSEUM

アニメのルーツと言われている国宝の「鳥獣人物戯画」についてお話を聞き、巻物のレプリカ(約 12m)を広げて鑑賞、そして巻物から自由に絵を選び、水墨を使って模写体験をします。
国語科の授業「解説文を読み解く」をテーマに実施する学校も増えています。



美術館所蔵の鳥獣人物戯画のお話



巻物を対話式で鑑賞



濃墨・薄墨を使い分けて模写体験

学校での文化芸術連携授業

十 研究事業(文部科学省・県教育委員会等)

美術館・芸術家と連携した芸術体験による教育的効果を検証

H23・24年 コミュニケーション教育

H25年 インクルーシブ教育プログラム

H25年～不登校児童・生徒への支援

十

文化施設や様々な機関との連携・協働

・滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール ホールの子事業
・守山市 小学5年生文化芸術体験事業、ルシオール アート キッズフェスティバル
・滋賀県、近江八幡市 学校向け体験プログラムのメニューフェア など

《センターの文化芸術連携授業の特色》

☆中心は学校・丸投げ型の連携はしない

事前の打合せで授業のねらいを伺い、講師間で共通理解します。

☆文化施設や芸術家とのネットワーク

県立文化施設、芸術家、企業、大学とのネットワークを活かし、様々な学習の要望に対応します。

☆経験豊かなコーディネーターの存在

授業の全体を把握して総合的に関わり、子どもたちが授業を通じて個々に達成感を持てるよう最大の配慮をします。

☆スタッフの細やかなサポート

課題を抱えている子どもたちへのサポートには細やかな支援で対応します。

「美ココロ・パートナーシップ事業」

1. 教室へ入れない児童・生徒への支援

○適応指導教室での不登校児童・生徒への芸術体験活動の支援

○学校内の別室登校児童・生徒への芸術体験活動の支援

びわ湖ホール「ホールの子」事業(コンサート鑑賞)

陶芸家と粘土体験、「鳥獣人物戯画」を題材に模写体験

自分で作ったお茶碗を使って「おもてなしのお茶会」体験

美術館教育プログラム、音楽家との音楽体験プログラムなど

教室に入れない児童・生徒たちの元へアート体験プログラムを届けます。一人の児童・生徒に対しても対応をいたします。学芸員、芸術家とセンターコーディネーターが伺います。いつでも、センターへご相談ください。

2. 若手芸術家を育成・派遣

○若手芸術家を学校の芸術体験活動に積極的に派遣し、講師の育成を支援しています。



●文化芸術連携授業における主な連携先 (平成30年度実績より)

- ◆滋賀県立陶芸の森 ◆滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール ◆滋賀県立近代美術館
- ◆滋賀県立文化産業交流会館 ◆MIHO MUSEUM
- ◆公益財団法人平和堂財団
- ◆さまざまなジャンルの音楽家、美術家、陶芸家、茶道家、染色家、写真家 など
- ◆滋賀の教師塾(塾生のボランティア参加) ◆滋賀大学教育学部
- ◆京都橘大学
- ◆龍谷大学エクステンションセンター(学生団体・サークルの参加)
- ◆立命館大学学生オフィス(学生団体・サークルの参加)
- ◆守山市文化体育振興事業団(守山市民ホール、大庄屋諏訪家屋敷)



問い合わせ先

滋賀次世代文化芸術センター

〒520-0044 大津市京町四丁目3-28 滋賀県厚生会館本館2階

TEL 077-522-6336 FAX 077-526-5033

E-mail info.bcosapo@silk.ocn.ne.jp

分野別索引

音楽

- びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！（ホールの子事業） ----- P 4
- 学校巡回公演 ----- P 5
- ふれあい音楽教室 ----- P 5
- びわ湖ホール舞台芸術体験事業 ----- P 5
- 滋賀県次世代文化芸術推進事業「アートのにじかん」2020 ----- P 6

美術

- 学校出前授業プログラム ----- P 2
- アートゲーム ----- P 3
- 鑑賞授業プログラム・パック ----- P 3
- つつっこプログラム ----- P 8

歴史文化

- 歴史に触れる（体験博物館） ----- P 10

全般

- 文化芸術による子供育成総合事業～巡回公演事業～ ----- P 12
- 文化芸術による子供育成総合事業～芸術家の派遣事業～ ----- P 13
- 滋賀次世代文化芸術センター事業 ----- P 14

掲載情報について

本ページは令和元年12月現在の情報を掲載しています。今後、状況の変化等により、プログラム内容に変更が生じる場合がありますので御了承ください。

事業の詳細につきましては、各施設もしくは滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課までお問い合わせください。

編集 / 滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号

TEL : 077-528-3344 FAX : 077-528-4833

E-mail : sc00@pref.shiga.lg.jp

令和2年1月